

Red Hatラーニングサブスクリプション(RHLS)Basic クイックスタートガイド

Red Hat®ラーニングサブスクリプションBasicへようこそ。RHLS Basic利用者は、すべてのRed Hatトレーニングをご自身のペースで1年間アクセスできるほか、以下の機能にもアクセスできます。

- 開発中のコースへのアクセス
- クラウドベースのラボ - Red Hat環境での400時間の実習
- テキストのダウンロード - 1サブスクリプションあたり10冊まで(1日の上限は1冊まで)

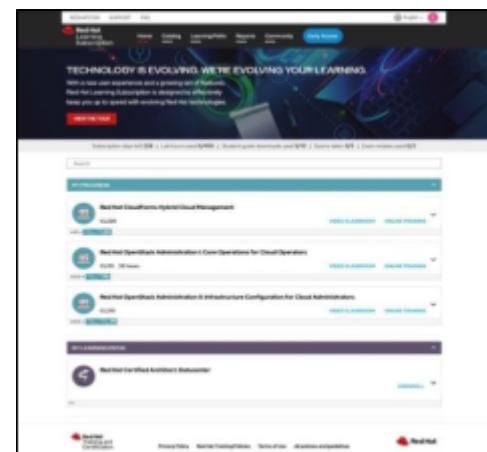
ログイン

<https://rol.redhat.com/rol/app/>

からRed Hatユーザー名でログインしてください。

ホームページ

サインインすると、ホームページにはコースの再開、コースの進捗状況の確認、および学習目標の設定のためのダッシュボードが表示されます。コースを開始するか、ラーニングパスを選択すると、ホームページから使用可能になります。学習中のすべてのコースを確認できるため、復習や今後のコースの確認が簡単にできます。

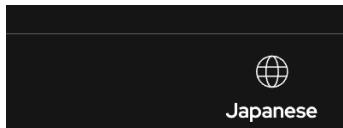


ホームページには、注目すべき機能が他にもあります。

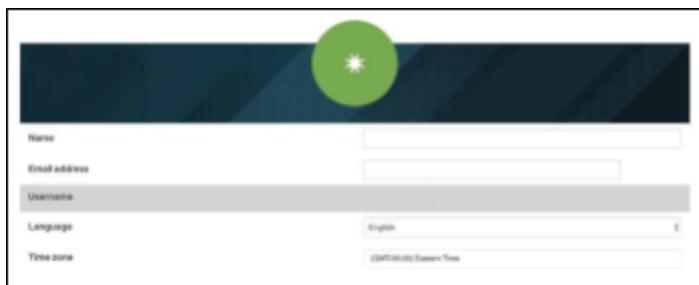
進捗状況トラッカー: ラボ時間とテキストのダウンロードのトラッカー

残存日数 152 | 使用済みの演習時間 10/400 | E-books claimed 0 | 試験 0/5

言語: 右上の言語を選択すると、プラットフォームのインターフェースがその言語に変わります。選択した言語での翻訳がある場合には、コースのコンテンツも更新されます。翻訳が存在しないときは、コースは英語に設定されます。多くのコースは、さまざまな言語での翻訳が利用できます。それぞれのコースで言語を選択すると、その設定は全体の設定とは別に保存されます。



プロファイル: 画面右上角の星印をクリックすると、下記のフィールドに限り、プロファイル情報を更新できます。名前を更新すると、星印がイニシャルに更新されます。



メニューの概要

このセクションでは、RHLSの各ページについて説明します。



カタログ: ここには、コース、エキスパートセミナー、認定試験など、RHLSのすべてのトレーニングコンテンツのリストが表示されます。検索バーから、キーワードでコンテンツを検索できます。また、検索結果を配信形式、製品、カテゴリー、言語で絞り込むため、トレーニング目標に合った正確なコンテンツを簡単に絞り込むことができます。

The screenshot shows the 'Catalog' section of the Red Hat Learning Subscription interface. On the left, a sidebar titled 'FILTER BY' includes dropdowns for '初期アクセス' (Initial Access), 'デリバリー形式' (Delivery Format), '製品' (Product), 'CATEGORIES' (Categories), and '言語' (Language). The main area displays a grid of course and exam cards. Each card includes a thumbnail, the course name, a progress bar, and a 'View' button. The courses listed are: AD002 - Event-Driven Architecture with Apache Kafka and Red Hat OpenShift Application Services Technical Overview (95%), AD41 - Python Programming with Red Hat (95%), AD83 - Red Hat Application Development I: Programming in Java EE (85%), AD221 - Cloud-native Integration with Red Hat Fuse (65%), and AD248 - Red Hat JBoss Enterprise Application Platform Administration (25%).

ラーニングパス: Red Hat認定を獲得するためのロードマップが表示されます。各ラーニングパスは、関連する製品または受講者のスキルごとに異なっています。現在、20以上のパスがあり、大まかなスキルの習得や、認定獲得に向けて利用できます。また、各個人のオリジナルのスキルパスを作成し、管理することができます。

The screenshot shows the 'Skills Paths' creation interface. On the left, a sidebar titled 'FILTER BY' includes dropdowns for '初期アクセス' (Initial Access), 'デリバリー形式' (Delivery Format), '製品' (Product), 'CATEGORIES' (Categories), and '言語' (Language). The main area is titled 'Subscription: ls220 - Subscription Standard' and contains fields for 'Title' (Custom) and 'Description'. A large text input field for 'Description' is present. Below these fields is a button labeled 'Select an offering...' with an 'ACCEPT' button next to it. At the bottom, there is a date input field 'Due Date' with a calendar icon, and 'CLEAR' and 'CREATE' buttons.

The screenshot shows the 'Skills Paths' list interface. The top navigation bar includes 'Home', 'Catalog', 'Learning Paths', 'Reports', 'Community', and 'Early Access'. The main content area is titled 'Red Hat Certified System Administrator (RHCSA) - New to Linux'. It displays a vertical list of learning paths, each with a thumbnail, title, and status (VIDEO CLASSROOM, ONLINE TRAINING). The paths listed are: 'Red Hat System Administration I' (ls420), 'Red Hat System Administration II' (ls420), 'Red Hat Certified System Administrator (RHCSA) - Exam' (ls420), and 'RHEL 8: New Features for Experienced Linux Administrators' (ls420).

レポート: コースの進捗状況、ラボの使用状況、および認定試験の登録状況を確認できます。また、このページからレポートをダウンロードできます。

ダッシュボード: レポート機能と同様、ダッシュボードは、コースの進捗状況、ラボの使用状況、試験のステータスに加えて、学習したトレーニングコンテンツの量と合計時間に関するデータを提供します。これらのレポートをダウンロードすることができ、マネージャーと共有することも可能です。

コミュニティ: このリンクをクリックすると、[Red Hatラーニングコミュニティ](#) (RHLC) のページをご参照いただけます。これは、技術的スキルの提供、学習、構築、適応のサポートを目的としたオープンでコラボレーティブなラーニングプラットフォームです。メンバーになって、他の学習者やRHLS利用者とつながりましょう。ログインすると、ディスカッションへの参加、質問の投稿、バッジのアンロック、ラーニングビデオのプレビュー、ベストプラクティスの共有、Red Hat製品のマスターに意欲的な技術者との交流などが可能になります。Red Hatラーニングコミュニティを活用して、RHLSでの学習を補足し、オープンソース学習を進めましょう。[日本人向けのラーニングコミュニティ](#)もあります

Early Access(初期アクセス-開発中のコース): Red Hatトレーニングは継続的に新しいコンテンツを開発しています。Early Accessにより、利用者は開発中のコースに、一般公開前にアクセスできます。コンテンツを試用して、フィードバックすることができます。この開発中のコースは、頻繁に変更されます。新しいコースは開発されるごとに追加され、全コースが完成すると、一般のコースカタログに移動されます。

ピアサポート: 各RHLSコースでは、Red Hatラーニングコミュニティのコースグループにアクセスできます。コースグループに参加することで、特定のコーストピックに関する情報交換を、受講者同士はもちろん、Red Hatのエキスパートやインストラクターとも行うことが可能です。学習中につまずいた際は、ぜひ参考にしてみてください。

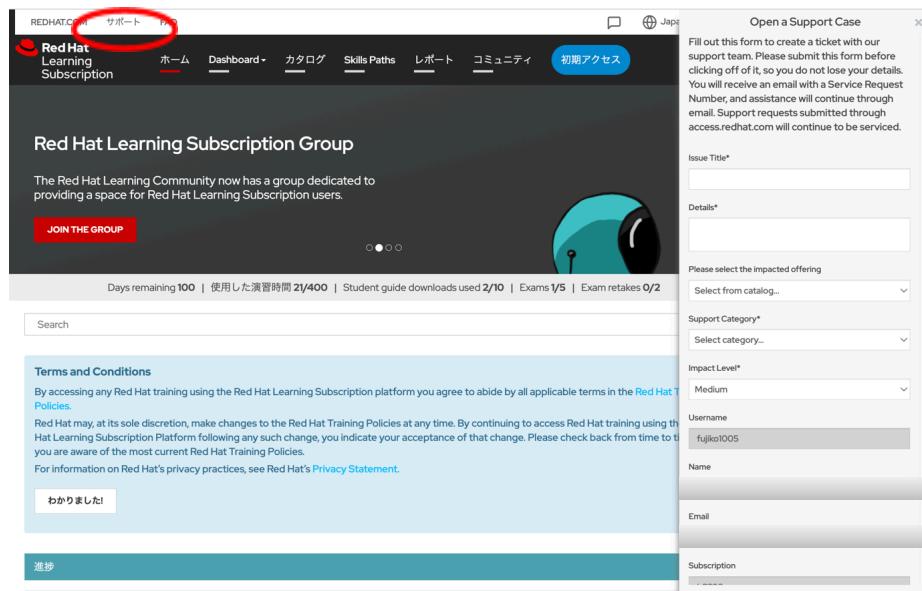


The screenshot shows a forum thread titled "Discuss Red Hat System Administration I". It contains three posts:

- Post 1:** "RH124 Chapter 15 Lab 3: Install zsh Package" by VictoriaB97, 2024年1月17日. Content: "Hello, I am trying to finish up Lab 3 of the Chapter 15 Comprehensive Review Labs in RH124, and when I typ...". 1 like, 4 comments, 2942 views.
- Post 2:** "Red Hat System Administration I | Guided Exercise: Explain and Investigate RPM..." by AbeHero, 2023年11月11日. Content: "I cannot start the lab with command: lab start software-rpm. I get this error: ModuleNotFoundError: No modul...". 1 like, 3 comments, 2351 views.
- Post 3:** "Red Hat System Administration I (RH124)" by Haley_Ruccio, 2023年7月20日. Content: "The first of two courses covering the core system administration tasks needed to manage Red Hat...". 3 likes, 1 comment, 336 views.

サポート

- サポートに連絡:** RHLSを使用中、ポータルに問題が発生したときには、ポータルの左上の『サポート』をクリックしサポートケースを開きます。
(たとえば、ラボが正常に動作しない、試験が登録できない場合などで問題の内容に関する質問や演習内容に関する質問ではございません)
すると画面、右側に入力フォームが表示されるのでこちらに状況を入力します。
スタッフがRHLSの管理を技術レベルからサポートします。(日本語対応可能)

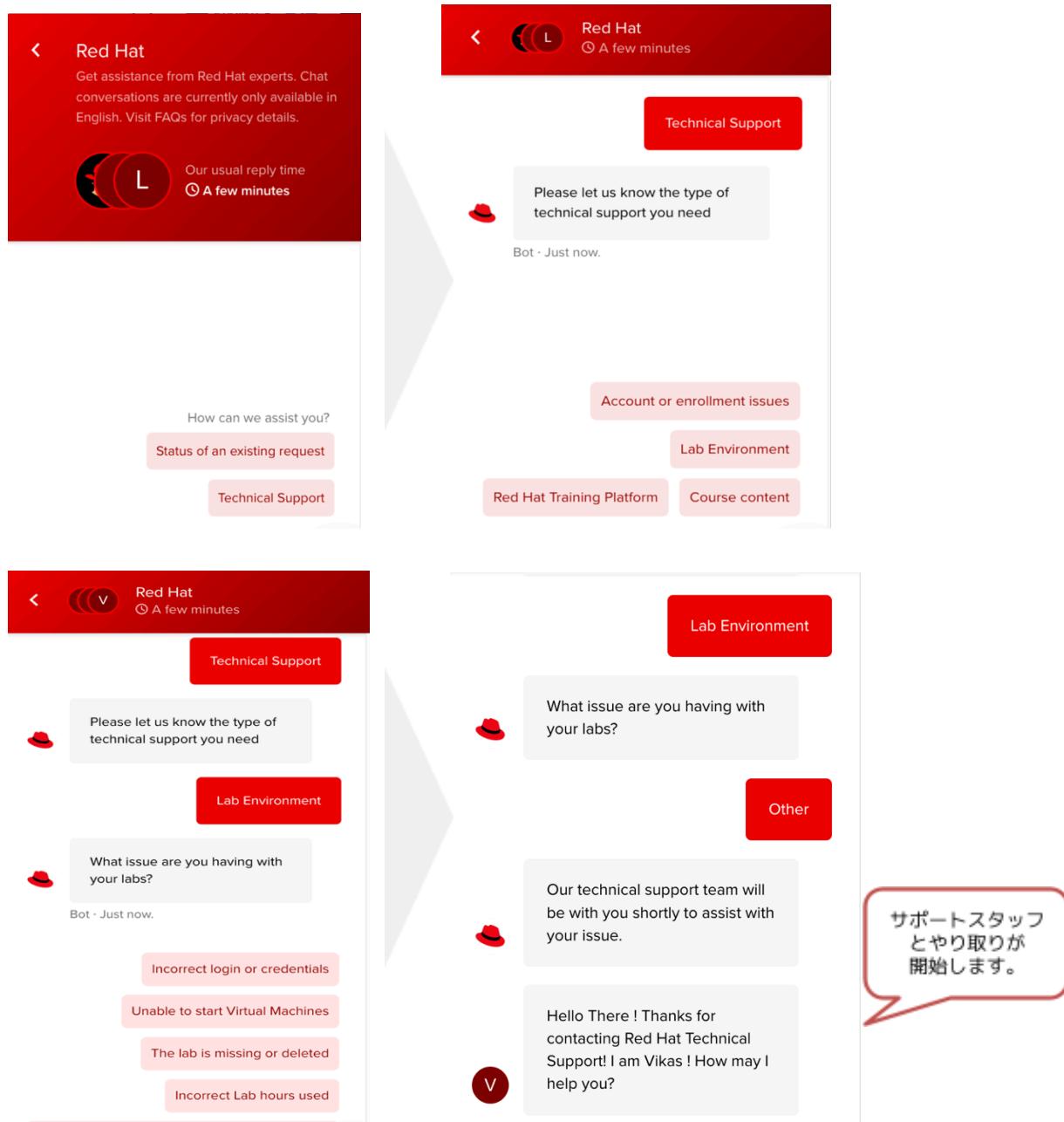


The screenshot shows the "Open a Support Case" form on the Red Hat Learning Subscription Group page. The "Support" tab is highlighted in red. The form fields include:

- Issue Title*
- Details*
- Please select the impacted offering: Select from catalog...
- Support Category*: Select category...
- Impact Level*: Medium
- Username: fujiko1005
- Name
- Email
- Subscription

At the bottom left, there is a "わかりました!" button and a "進捗" (Progress) button.

また、下記チャット機能よりサポートを依頼することも可能です。
チャットに入力すると対応可能なエキスパートが返答し、課題の解決をお助けします。
(日本語対応可能です、ただしAIによる翻訳機能を使用した対応となります)



- **Red Hatアドバイザー:** 1年を通じて定期的にメールで連絡、トレーニング目標の達成をサポートします。Red HatアドバイザーはRed Hatトレーニングの主な連絡先となり、質問に答えたり、デモを実行したりします。時期が来ると、トレーニングスペシャリストはRHLSの更新をお手伝いします。

学習の開始

実際のトレーニングと認定試験にアクセスする方法について説明します。

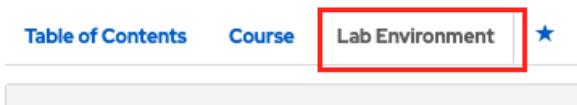
ラーニングパスの登録: Skill Pathsのタブから、自身の学習と認定資格取得のために最適なパスを選択してください。パスを登録すると、ホームページの「マイラーニングパス」セクションに追加されます。

ラーニングパスを展開すると、次のものが表示されます。

- パスを構成するコースと認定試験
- 各コースの詳細、前提条件、対象者
- パス内のコースの完了率
- パス全体の完了率

コースの受講を開始するときには、コースと教材について注意すべきことがいくつかあります。

- テキストのダウンロード: 1年間のRHLS受講期間中、合計10回までのテキストをダウンロードできます。1日のDLの上限は1冊となります。
- ラボ: 各コースにはそれぞれラボ環境が用意されていて、学習にあたって練習教材に取り組むことができます。コースを開始する前、ラボを起動してください。ラボによっては起動に時間がかかるため、このようにすると、必要なときにすぐに使用できます。ラボはコース内の Lab Environment タブから実施できます。



- 受講証明書: 各コースには受講証明書があり、コースの75%を完了するとダウンロードできます。Topページ右上のプロフィール、Achievementsに表示されるCertificationをクリックしてください。そこからCredlyのページへ移動し、受講バッジを取得できます。



Red Hat Training: Getting Started with Linux Fundamentals (RH104) - Ver. 9.1

02/20/2024

- **Red Hat Training Bookshelf:** トレーニングで使用される教材をWebベースおよびePub形式で入手できるプラットフォームです。Bookshelfはブラウザでアクセスが可能で、オフライン環境でも利用ができる電子書籍です。

詳細について

RHLSの詳細については、Red HatラーニングサブスクリプションのFAQをご覧になるか、以下お問い合わせ先までご相談ください。

support.japan.training@redhat.com

Appendix

レッドハットアカウントの登録とアカウントの動作確認について

1) レッドハットアカウントの登録

- レッドハットアカウントをお持ちでない方は、以下のリンクよりアカウントの登録をお願い致します。

https://www.redhat.com/cms/managed-files/Account_Registration_Guide.pdf

上記のドキュメントをご参照ください。

お名前は、ローマ字での作成をお願い致します。 (漢字、カナ、特殊記号はNG)

メールアドレス以外での作成を推奨いたします、

- 既にレッドハットアカウントをお持ちの方

登録のお名前が漢字表記の場合は、ローマ字へ変更をお願い致します、
(漢字、カナ、特殊記号はNG)

レッドハットのアカウントの詳細(www.redhat.comにログイン)より変更が可能です。

2) レッドハットアカウントの動作確認

以下のレッドハット学習管理システムにログインし自身のメニュー画面をご参照ください。

Webページが参照できれば、レッドハットアカウントの登録は完了です。

<https://training-lms.redhat.com/sso/saml/auth/redhat>

3) レッドハットアカウントとパスワードの保管

ログイン頂いたレッドハットアカウントでのアカウント、パスワードは
RHLSにログインする際に使用しますので自身にて保管をお願いします。